

みさと 福祉だより

第17号

平成21年
7月7日

編集発行

社会福祉法人 美郷町社会福祉協議会
☎0187-85-2294 ☎0187-85-2291
印刷・株式会社アイ・クリエイト



誓いも新たに・・・六郷高校福祉科第六期生が宣誓式

地元六郷高校の福祉科第六期生の宣誓式が行われました。
宣誓式に出席した2年生22名は、これから福祉に関する専門的な学習に入り、
11月からは地域の特別養護老人ホームなどで実習を行います。

貴重な会費、寄付金、共同募金配分金などを
もっと活かせる効率的な体制づくりで
永く地域に貢献できる美郷町社協をめざします

千畑福祉センターへの一本化を柱に

— 組織体制の見直しを進めています —

美郷町社協では平成16年11月の3社協合併以降、地域の利便性を最優先に考え、旧町村単位に事務所（福祉センター）を設置し福祉活動を推進してきました。

しかし、合併5年目を迎え、現体制のままでは会の運営や事務所間の調整などに多くのお金や時間を費やす結果となり、地域住民の皆さんの思いがこもった会費、赤い羽根共同募金配分金、寄付金などの貴重な財源を十分に活かしきれないという見地から、このたび現状の点検、精査を行いました。

その結果、分散して設置してある事務所の統合や職員体制、職員数を見直すなどの取り組みを行うことにより効率的な組織体制の確立と経費削減を行うことで、将来にわたり地域に貢献できる社協を実現することが必要不可欠であると判断し、次のような具体的な行動を柱とした計画を策定することにしましたのでお知らせします。



千畑福祉センター外観



新しい組織体制に向けた 基本的な方針と具体的な行動の柱



1つめの柱

本会のすべての機能を千畑福祉センター1カ所に集めます
これまで旧町村ごとに設置していた社協の各事務所を廃止し、千畑福祉センター（美郷町土崎字上野乙6番地1）1つにすべて集める体制をとることによって効率的な組織運営を実現します。目標年度を平成22年度と想定しています。

— 現体制を見直す理由 —

- ① 3つの事務所を運営するための人件費、施設の維持管理費が割高である
- ② 施設間、職員間の意思疎通や共通の理解が不十分になりがちである
- ③ 公文書の回議や職員間の打ち合わせに費やす労力、時間のかかり増しが著しい

これら現体制が抱える課題を解消することによって生み出される財源や労力、時間は地域の福祉向上のための諸事業に充てられることとなります。

— 千畑福祉センターを選んだ理由 —

- ① 美郷町社協が所有する施設であること（他の施設は町有施設）
- ② 平成10年10月に完成した施設であり、老朽化などによる不都合がないこと
- ③ 常勤、非常勤職員全員が業務に従事できるスペースを確保できると見込まれること
- ④ 地域住民が交流できる集会室や会議室のほか、デイサービスルーム、大規模浴室、配食サービス用厨房などの機能も有していること

2つめの柱

社協の事業、業務は「班」を通じて遂行します

1つの福祉事業などの業務を3人の職員が担当する現体制から、役場と同様に複数の職員で組織する「班」を通じて仕事を行うこととします。また、班長を置いて「班」を統括します。

- 「班」を通じた業務遂行の利点 -

- ① 職員間の意思疎通が良くなり、迅速でスムーズな業務遂行が期待できる
- ② 担当者不在といった事態がなくなり、常に十分な住民対応ができる
- ③ 複数の職員による業務のさまざまな点検、改善が行われ、業務の質的向上が見込まれる
- ④ 班長職を置くことによって、通常業務を通じた人材育成が可能となる

3つめの柱

人件費や一般経費の削減により財源の創出に努めます

施設の維持管理費や物件費など一般経費の節減はもちろん、一本化によってもたらされるスケールメリットを最大限発揮し、正職員数を削減することで人件費支出を大きく抑える職員定数適正化計画を策定します。

- 職員定数適正化計画のめざすところ -

- ① 平成21年度を基準年度として平成30年度までを計画期間とする
- ② 基準年度と比較し、職員数で20%、人件費支出で3千万円超の減をめざす
- ③ 削減の方法は定年退職者の不補充、一部補充を通じて行う



皆さんをお待ちする社協から
皆さんのもとに出向く社協を充実します



千畑福祉センター（デイルーム）

千畑福祉センターに集まることによって、六郷地区と仙南地区から社協の窓口がなくなるため、不安を抱く地域住民の方々も多いことと思います。しかし、私たち社協はいつでも皆さんの傍にいたいと思っています。どうかご安心ください。

もともと社協は、皆さんのもとにうかがうことを基本とした社会福祉法人です。組織一本化後は「美郷町全域」というよりは「美郷町で生活する一人ひとり」の福祉向上のため、従来にも増して職員が皆さんのもとに出向いてご相談に応じ、安心していただけるきめ細かい見守り体制を築き、より充実した福祉事業を展開していく予定です。



ご意見、ご感想は、
千畑福祉センターまでお願いします。

住所 〒019-1541 美郷町土崎字上野乙6番地1

メール senfuku@obako.or.jp

電話 0187-85-2294

FAX 0187-85-2291

トータルケア情報

トータルケアみのり委員会



～全体会を開催しました～

トータルケアみのり委員会（加藤勇孝委員長）では、日常生活で直面する「ちょっとした困りごと」や「ちょっとした不便」の解消に向けて、「ありがとう」の気持ちで支援活動を行う「おたすけマン」事業の検討を行ってきました。

今回の全体会では、今まで二つの作業班に分かれて事業内容や対象者、利用料金などについて検討してきた結果を報告し、今後の方向性について話し合いました。

その中で、利用対象者を限定しないで買い物やゴミ出し、公共機関への手続き代行などの支援活動を行っていくこと、利用料金を30分程度で300円（ガソリン代などの実費相当分）を基準とすることなどを確認しました。

トータルケアみのり委員会については、これから「おたすけマン」事業の開始に向けて準備を進めるA班、「災害などの緊急時におけるボランティア体制」について検討するB班に班編成を見直し、定期的に全体会で報告しながら検討を進めていきます。

トータルケアみのり委員会の情報については、今後も福祉だより等で随時お知らせしますので、よろしくお願いいたします。



会議全体

加藤委員長あいさつ



高橋房雄班長の報告



高橋美由紀班長の報告



グループ討議



福祉教育推進事業で行われた 各学校の取り組みを紹介します！

町内の各学校の協力により実施している福祉教育推進事業について、平成20年度の取り組みについて紹介します。

この事業は、児童・生徒や地域住民による思いやりの心を育み、誰もが安心して暮らせる地域づくりを進めていくために行っているもので、各学校に活動費として補助金を交付し、各学校の自主性により一人暮らし高齢者宅や老人福祉施設の訪問、アルミ缶回収や地域の住民と一緒に農作業を行うなど、様々な取り組みが行われています。また、各種募金活動やお元気ハガキ、配食サービス事業のお弁当の包み紙の作成などにも協力していただきました。

この事業は、平成21年度も継続して行われており、昨年度に引き続き各学校で特色のある取り組みが行われるものと期待しています。



高齢者とのふれあい活動(お話し)



昔っこ語り



高齢者とのふれあい活動
(マッサージ)



福祉施設でのボランティア活動



みんなで集めたアルミ缶とプルタブ

理事会・評議員会から

●理事会・評議員会を開催しました

平成21年度第1回目の理事会、評議員会を開催しました。

5月26日の理事会では、平成20年度一般会計・特別会計の事業報告や財産目録、貸借対照表、収支決算書が認定され、平成21年度の補正予算、評議員の選任などを原案どおり同意しました。引き続き開催された共同募金会の理事会では、平成20年度事業報告と決算、平成21年度の事業計画・収支予算を議決しました。

また、5月28日の評議員会では、理事会で認定・同意された事項について議決し、理事の選任を行いました。

●理事・評議員が選任されました

平成17年4月から理事として尽力された辻一志氏が美郷町役場の人事異動により辞任され、5月28日の評議員会で新理事に福祉保健課長の右谷康一氏を選任しました。

また、5月26日の理事会で、欠員となっていた評議員を次のとおり選任しました。

今回選任された理事の任期は平成22年11月30日まで、評議員の任期は平成22年9月30日までになります。



理事・右谷 康一

- ・理事 右谷 康一 (西高方町)
- ・評議員 梅川 知子 (赤城)・鈴木正洋 (宝門町)
- 深沢 義一 (四ツ谷)・鈴木和歌子 (本堂東部)

家族介護者交流会を開催します



社会福祉協議会では、今年度も介護者(在宅で要介護4、5の方を介護している家族)の方々に介護疲れを癒し、リフレッシュしていただきたく、年3回の予定で家族介護者交流会を開催します。

内容としては、介護者の交流、在宅介護に関する研修、施設見学など予定しており、移動の際に小規模な観光を兼ねて各所への立ち寄りも考えています。

介護者の皆さまには、是非この機会を活用していただき、介護者でなければ解らない悩みや不満を思う存分話してください。そうして気分転換を図ることにより、気持ちを新にし、介護意欲の維持や向上につながっていただければと思っています。

日程等については、その都度お知らせいたしますので、家族や親族の皆様には、介護者が参加できるように後押しして下さるようお願いいたします。

平成21年度の予定

- 7月 小岩井農場・工場見学、交流会
- 10月 観劇(わらび座)、紅葉刈り
- 3月 温泉施設等の見学を予定
(参加費は無料)

傾聴ボランティアの集いを開催しています

平成20年度に開催した傾聴ボランティア養成講座の受講者が集まり、定期的に「傾聴ボランティアの集い」を開催しています。

「聴く」という言葉をキーワードに、養成講座で勉強した内容を今後の活動に活かしていくために、情報交換や事例検討を行っています。

今後は、同じ目的で活動しているメンタルヘルスサポーター「てとての会」と合同で活動していくこととしており、定期的な傾聴活動を行うことも計画しています。



情報交換する傾聴ボランティアの皆さん

出張理容補助券交付事業の利用対象者が拡大されました

在宅の寝たきりの方を対象に、出張理容料金の一部を補助する「出張理容補助券交付事業」について、平成21年度から65歳以上という年齢の枠がなくなり、美郷町内に居住している寝たきり状態の方であれば、介護度を問わずに補助券(3,000円)が1年間に一人あたり2枚まで交付されます。

この事業は美郷理容師会の協力により行われており、出張理容補助券は美郷理容師会に加盟する理容店(28店)で利用することができます。

出張理容の料金は、交通費などの出張料を含んだ金額のうち、3,000円の補助券が利用できます。詳しくは出張理容を依頼する理容店へご確認ください。



「まめだ屋」のボランティアを募集しています

ふれあいサロン「まめだ屋」(六郷地区)では、施設内の喫茶コーナーの担当など、年間を通じて運営に協力いただけるボランティアを募集しています。

お手伝いいただける方、興味のある方は、

六郷福祉センター

(電話84-0378)

まで連絡をお願いします。



美郷町住民活動センター「みさぼーと」がオープンしました

美郷町で取り組んでいる協働参画のまちづくりを推進するための拠点として、美郷町住民活動センター「みさぼーと」が六郷庁舎の1階にオープンし、一部の業務を開始しました。

みさぼーとは、福祉や社会教育、学校支援などの分野で「何かお手伝いしてほしい人」に対して、みさぼーとに登録した「お手伝いしていただける人」を紹介したり、広報誌による情報発信や各団体に対する活動場所の提供などを行っており、今秋には施設や業務内容を充実し本格オープンする予定です。

美郷町社協としても、主に福祉の分野でお互いに連携・協力していきたいと考えています。



六郷庁舎内にオープンした「みさぼーと」の様子

在宅介護支援センターからのお知らせ

「介護教室」を
開催します

自分自身や家族にとって決して無縁とはいえない介護。

今年度は認知症の基礎的知識・対応の仕方について介護教室を開催します。

●日 時：7月17日(金)10時～11時 場 所：飛沢会館

●日 時：9月13日(金)10時～11時 場 所：下畑屋会館

※上記開催日以外に他会館にての開催も予定しておりますので、ご興味のある方は下記までお問合せ下さい。

【連絡先】 千畑在宅介護支援センター 電話 85 - 2294



「ダスキンよねや」様から ご寄付いただきました

有限会社ダスキンよねや創業40周年記念事業の一環として、地域福祉に役立てていただきたいということで、美郷町社協に対して善意のご寄付をいただきました。

いただいたご厚意に対して感謝申し上げます。ありがとうございました。



ダスキンよねや三浦取締役から
寄付金を受け取る佐藤会長



六郷高校福祉科通信

この春、福祉科四期生三十名が卒業しました。おかげさまで二十二名が福祉関係に進学・就職することができました。さまざまな面で地域の方々からご協力とご支援のおかげと心から感謝しております。今後、これまで学んできたことを活かし、地域に少しでも恩返しができるよう頑張りたいと思います。地域のみなさまとのふれ合いを大切にして、私たちも地域の期待に応えることが出来るよう、努力していきたいと思っています。

どうぞよろしくお願いします。

福祉科四期生 介護福祉士国家試験結果

◆十九名合格

六郷高校合格率 2%
 全国総受験者合格率 0%
 全国福祉系高等学校合格率 3%

【福祉科第六期生宣誓式】

五月二十七日(水) 福祉科第六期生二十二名の宣誓式が本校体育館で行われました。伊藤瑠奈さんが誓いのことばを、そして、佐藤いずみさんが「いつもあたたかく、相手の気持ちを受けとめることができる介護福祉士を目指したい」と、出席してくだ

さった方々にお礼と決意のことばを述べました。式のあと、福祉の仕事に長年にわたって携わって

こられた熊谷美保子さんから「福祉と共に歩んできた道」―笑顔の中から見つけ



講演

たもの―」と題して、講演いただきました。

「福祉の原点は家族である」

「やさしさといたわりは福祉の心」

「弱い人を助けることは当たり前のこと」

まさに福祉の仕事を目指そうとする私たちの心に響くお話でした。



宣誓式

「若い人たちに期待します。」という

結びのことばは、福祉科の私たちにとって大きな励ましとなりました。

「優しさという力」を合言葉に、信頼される介護福祉士を目指し、常に前向きに学んでいきたいと思

【福祉科行事予定】

- 7月 笹竹祭 福祉科展示・ステージ発表
- 8月 施設ボランティア・夏祭り参加
◇訪問介護員養成研修開始(2年生)
- 9月 スポーツ交流会(大曲養護学校)
◇サンワーク六郷実習(3年生)
- 10月 産業フェア(大仙市・美郷町)
福祉科二年生施設実習(前期)
- 11月 ◇サンワーク六郷クリスマス会
福祉科二年生施設実習(後期)
- 1月 ◇介護福祉士国家試験(二次試験)
- 3月 ◇介護福祉士国家試験合格発表

ガイダンスの一環として、一年生全員が福祉科二年生の実習の様子を見学しました。先輩方のてきぱきとした動きや声かけに新たに興味を持った一年生がいたようです。

また、仙南西小の六年生が本校で介護体験を行いました。かわいい小学生を前に緊張しながらも楽しく実習を行いました。

今年度は、六郷高校福祉科をもっと知ってもらいたいと思い、さまざまなことを企画しています。



一年生ガイダンス



仙北西小

カメラ散歩

どこまでも続く紫の絨毯・・・ ラベンダーの花がきれいに咲きました



千畑ラベンダー園では、今年もたくさんのきれいな花が咲き、大勢の観光客が思い思いに園内の散策や摘み取りを楽しんでいます。園路も整備され、家族の方などと車椅子で散策する姿も見受けられるようになりました。

天気の良い日に、ラベンダーアイスでも食べながら園内を散策してみるのもいいですね・・・。



編集後記



数年ぶりに広報誌の発行に携わりました。より多くの情報を提供するよう心がけたつもりですが、バタバタと短期間での作業となったため、皆さんにとって読みやすい内容だったかどうかは、なところもありません。ご意見やご感想をお寄せいただければ幸いです。(の)

一般寄付

うたとおどりのフェスティバル 実行委員会様

千畑南小わくわく学舎 様

よねや株式会社 様

元村 照井 喜明 様

コスモスの会 様

有限会社ダスキンよねや 様

野荒町 寺沢 キミ 様

さなぶり実行委員会 様

香典返し

新町 長沢ツイ子 様

下畑屋 深田 重雄 様

第一暁 高橋 廣美 様

山本 福島龍之介 様

上中野町 梅川 敏鋭 様

下中野町 梅川 武朗 様

野中 高橋サチ子 様

大仙市太田町 藤峯尉一郎 様

小荒川 佐藤 清孝 様

上畑屋 本間 英之 様

土崎北部 高田 良博 様

中大久保 佐々木鉄雄 様



善意

第二暁 高橋 伸 様

本道町 最上 博康 様

後三年 下澤 セイ 様

三井寺 柏谷 毅 様

南町 大坂 清一 様

小荒川 佐藤 修 様

野中 井合 和人 様

物品寄付

旭町 藤井 聰子 様

まめだ屋へ書籍7冊

※皆さんのご厚意ありがとうございます。さいます。 ※今回から受付順の掲載とさせていただきます。 でした。

以上の方々より当協議会に善意の金品をご寄付いただきました。ご厚意に対し、心からお礼申し上げます。ご寄付いただいた場合、必要な方へはがき(忌明け・快気祝い等)を無料でお届けいたします。

平成21年4月1日〜平成21年6月26日受付分



社会福祉 法人

美郷町社会福祉協議会

〒019-1541

秋田県仙北郡美郷町土崎字上野乙6番地1

TEL 0187 (85) 2294(代) FAX 0187 (85) 2291

千畑福祉センター 〒019-1541 秋田県仙北郡美郷町土崎字上野乙6番地1 TEL0187 (85) 2294(代) FAX0187 (85) 2291
六郷福祉センター 〒019-1402 秋田県仙北郡美郷町野中下村37番地1 TEL0187 (84) 0378(代) FAX0187 (84) 2822
仙南福祉センター 〒019-1234 秋田県仙北郡美郷町飯詰字北中島31番地3 TEL0187 (83) 2122(代) FAX0187 (83) 2167